

JELLY BEANS Group

補足資料 子会社JBサステナブルとRayofWaterとの「AirQua」総販売権を含む業務提携のお知らせ



ジェリービーンズグループの100%子会社「JBサステナブル」は
独自の技術による環境事業を行っている
株式会社RayofWaterとの間で同社が一部特許を保有し開発する
AirQua の総販売権を含む包括的業務提携を結びました。



Connect“smiles”and“the future”around the world.

世界中の“笑顔”と“未来”をつなぐ

「水の惑星」地球は、表面の約 3 分の 2 が水で覆われています。

しかし、そのほとんどは海水で、人間が利用できる淡水は、地球上の総水量のわずか 0.01% にすぎません。

水は、生命の誕生と維持に欠かせない存在であり、地球の環境にも重要な役割を果たしています。

私たちは、サステナブルな未来に向けて “ 水不足 ” という問題に取り組み、コンセント一つで、
空気から安全で美味しい水をつくることができる、

ウォーターサーバー AirQua（エアクア）プロジェクトを展開しています。

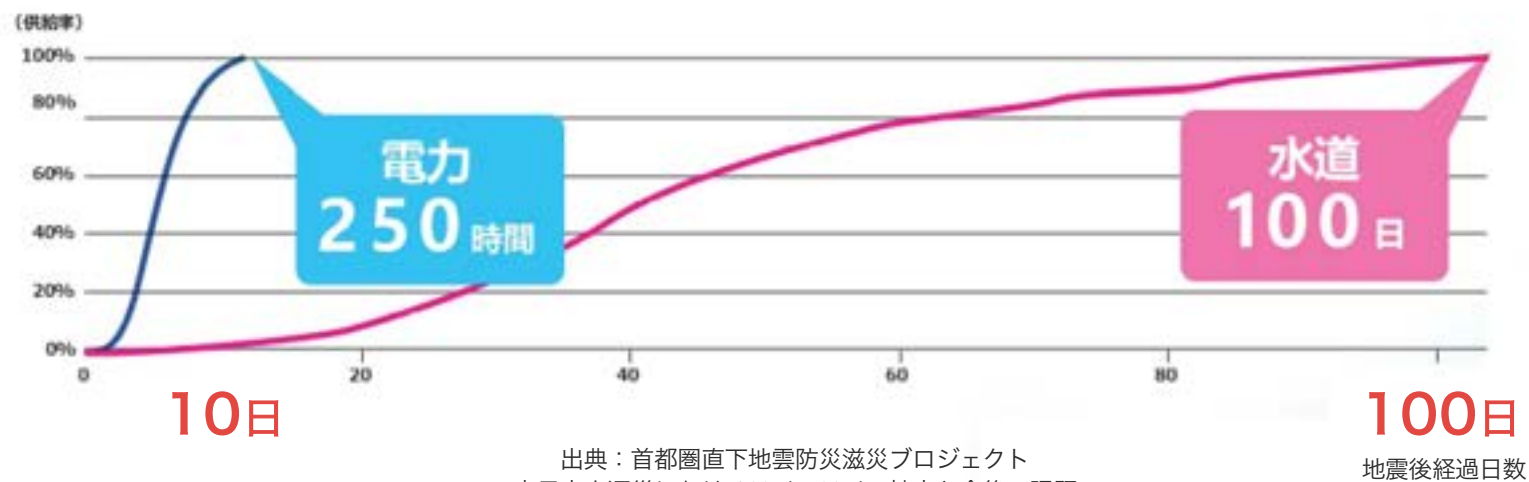


災害時の断水シミュレーション

首都圏直下地震が震度7 のレベルで起こった場合

電力は250 時間で復旧・水道は全面普及まで100 日

国の首都圏直下地震防災減災プロジェクトの「東日本大震災におけるライフライン被害と今後の課題」によれば、首都圏で震度7 の直下型地震が起こった場合、電力は250時間間で完全復旧するのに対し、断水の復旧には100 日間もの日数がかかると予測



出典：首都圏直下地震防災減災プロジェクト
東日本大震災におけるライフライン被害と今後の課題

災害大国日本の“ライフライン”対策

水不足は、人口増加、農業や工業の発展、気候変動など、さまざまな要因によって引き起こされ、水の需要は増加の一途をたどり、大量の水が消費されています。さらに、気候変動によって、降水量や気温が変化し、水循環に影響を与えています。災害大国と言われる日本では、毎年のように台風や洪水、地震などの自然災害に見舞われ、安全な飲料水の確保が容易ではない状況に陥ることが少なくありません。

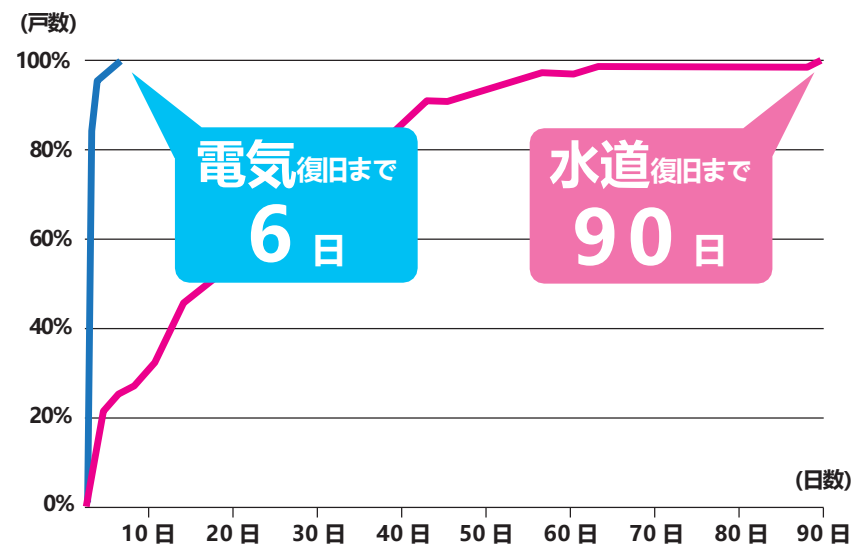
また、いつ起こってもおかしくないと言われている、南海トラフ大地震や首都直下地震についても甚大な被害が予想されており、水道インフラに頼らない災害時の備えが必要です。

阪神大震災の場合

電気は6日で復旧
水道は3ヵ月断水

出典：神戸新聞 NEXT

阪神大震災では、4000本の電柱が倒れたものの、電気は6日で復旧したが、阪神地区だけで地中4000キロメートルに渡る水道管は水漏れの特定期間から難航し復旧に3ヵ月を要した。



ウォーターサーバー市場は2,000億円突破!

▶市場規模推移（億円）

出典：日本宅配水&サーバー協会



健康志向の高まりにより、ウォーターサーバー業界は今後も需要の拡大が見込まれています。
いつでも好きなときにお水を飲むことができるため、利便性が高く、特に、忙しい人や小さなお子様のいる家庭では、ウォーターサーバーが重宝されています。また、メーカーの競争激化で手頃な価格で提供できるようになりました。



空気から水を作る

Air Qua

「AirQua（エアクア）」は、気温 5 度以上、湿度 40% 以上の空気中に含まれる水蒸気を機械に効率よく吸い込ませ、強制的に冷却する事で水に変えて、その水を活性炭などのフィルターに通すことで飲料水となります。

電源さえあれば、1 日に **50** リットルから **1000** リットル以上の水質の良い安全な飲料水を作り続ける事が可能です。



Air Qua の特徴

AIR

AQUA

空気から水を作り出す

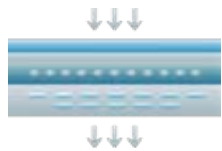
01

空気から水を作る



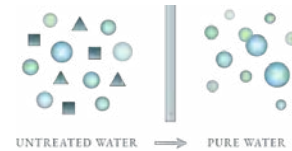
02

不純物 99.9% 除去の
高性能フィルタリング



03

外部から未処理水を取り込み可能



04

タンクの交換や
保管が不要



空気から水をつくる / 不純物 99.9% 除去の高性能フィルタリング外部から
未処理水を取り込み可能 / タンクの交換や保管が不要



Air Qua の需要

POINT
1 家庭やオフィスなどでウォーターサーバーとして通常使用

POINT
2 学校や施設といった緊急避難場所への防災用として設置

学校、医療施設、救護所、社会福祉施設、ホテル、商業施設、工場・企業の備蓄など

POINT
3 水源が少なく整備されていない地域（離島や海外）

- ・インフラが整っていない地域
- ・ホテル、学校、施設など
- ・高所（山頂）、グランピング施設、農業用地など
- ・建築業、解体業、太陽光事業、緑化事業など
- ・上下水道の設備がない地域

POINT
4 移動式

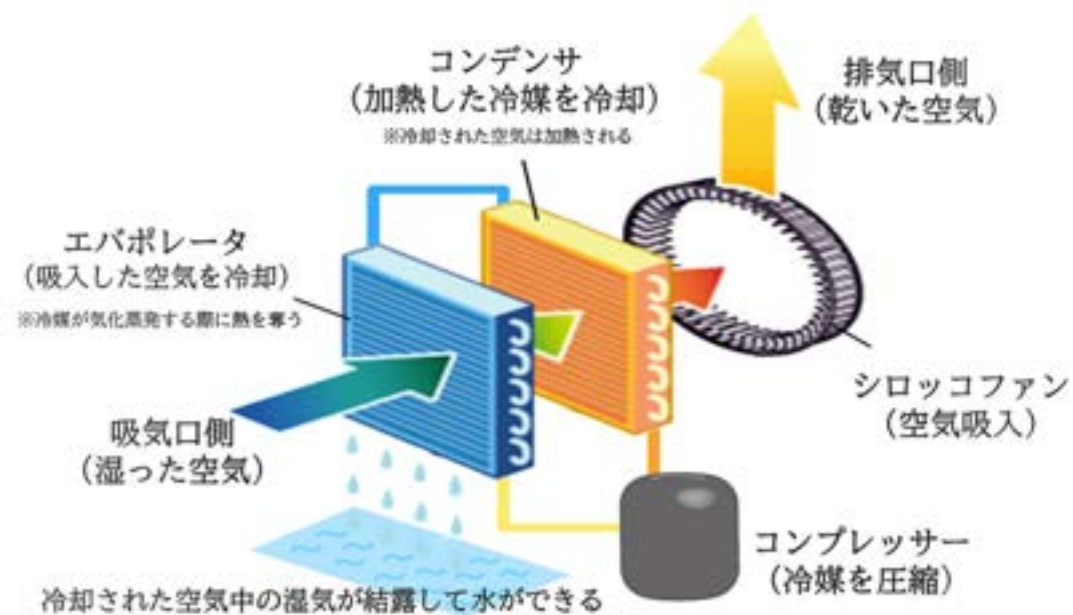
キャンピングカー、キッチンカー、給水車など



Air Qua

空気から水を作る仕組み

水分を含む空気が冷却されることで
水蒸気が水になる現象（結露）を電気の力で
強制的に行ない水を作ります



Air Qua

ご家庭に設置するだけで 水の備蓄スペースは不要

空気から水をつくる“AirQua”は
家庭用コンセントを差し込み、電源を入れるだけで
いつでも、安心・安全な飲料水を気軽に飲むことができます。
マグネシウムとカルシウムを多く含んだ口あたりの優しい
軟水のミネラルウォーターだから、乳幼児からご年配の方ま
で、どなたにもご利用いただけます。



Air Qua

緊急事態が発生した際の オフィスの事業継続対策

突然発生する災害。
帰宅困難者であふれる社内。
一番最初に電気が復旧するも、トイレの水もまだ流せない。
でもAirQuaがあるから、社員全員の飲み水は心配ない。
保存食のカップ麺を食べて、復旧を待つことにしよう。

Air Qua

断水発生時の医療機関設備を はじめ公共施設や避難場所でも活用

災害時などに水の供給は必要不可欠。
AirQuaがあれば万が一の際に飲み水の確保が
できるため安心です。



Air Qua

全国の観光案内所との連携で オーバーツーリズムに対応

インバウンドの大幅な増加によって観光地が過度に混雑し、地域住民の生活や自然環境に悪影響を及ぼす観光公害

「オーバーツーリズム」が問題視されています。その解決に向け全国の観光協会・観光案内所・観光地と連携し“AirQua”を設置することで、ペットボトルの消費を軽減するとともに、空気から水をつくる日本の最新テクノロジーをアピールします。





SNSを活用した 情報発信

防災に関する情報を発信するブログやSNSアカウントを開設しターゲット層の共感と呼ぶコンテンツを作成。



インフルエンサー 活用

防災意識の高いインフルエンサーに商品を体験してもらい、感想を投稿してもらうことで、商品の信頼性を高める。



SNSでの キャンペーン展開

商品の告知やキャンペーンをSNS上にて展開。ブランドイメージを高めるとともに商販売促進に繋げる。



防災向け イベントへの出展

実機展示、試飲などを行うことで、商品の認知度を高める。関心度の高い顕在層へのアプローチを促進。

出典：村上雅博著『水の世紀』日本経済評論社

大型機ラインナップ

海外市場や大規模施設向けのグローバルな需要に応える
ソリューションを提供してまいります



AirQua50
(冷温水 50L/日)



AirQua200
(冷温水 200L/日)



AirQua1000
(常温 1000L/日)

Air Qua

空気からつくる水を世界基準に水不足に苦しむ
世界中の人々に安全な飲料水をお届けします



出典: 村上雅博著『水の世紀』日本経済評論社

能登半島地震の被災地へ支援



2024年2月5日
石川県志賀町役場へ2台寄贈。

2024年2月26日
石川県能登町役場へ2台寄贈。